



## 9月 どんぐりぐみだより

担当：橋本志穂

体を動かすことは、心の解放につながります。夏のプール遊びで培った力を、色々な運動遊びにつなげていきたいと思ひます。また、興味を引き出すような運動遊具を作り、体を動かすことって楽しみな！気持ちいいなと感じられるようにしていきたいと思ひます。



### 9月の行事

- ・ 3日(火) 交通訓練
- ・ 17日(火) 火災訓練
- ・ 18日(水) お楽しみ会
- ・ 19日(木) お月見団子クッキング
- ・ 26日(木) かすべる人形劇『アラジンと魔法のランプ』

### 9月の歌

- ・ こおろぎ
- ・ とんぼのめがね
- ・ どんこんことたいよう
- ・ おつきみうさぎ
- ・ 秋の空

### 9月の絵本

- ・ ぶらぶらさんぼ
- ・ おつきさまでたよ
- ・ がたんごとん
- ・ たぬきのじどうしゃ

### ●運動

#### ○プール大好き！



青空のもと、毎日のようにプールあそびをしてきた8月。「プールするよ」と呼びかけるとプールバッグを取りに行き着替えようとする意欲を見せてくれました。水中に入ると自分の身体で、自分の思いのままに水と戯れ、笑顔や歓声をあげるほどプールが大好きになりました。底に手をついてワニ歩きをしたり、鼻の下まで水に入れブクブクと息を吐くこともできるようになりました。

1歳児さんの目標『①プールの水が顔にかかっても、泣いたり、いやがったり、怖がったりせず、平気で水とあそべること。②水の中に身体を入れ、自由に動き回ることが楽しめること。③プールのふちから水の中へ飛びこんで、自分の力を活かせること。』もだんだん出来るようになりました。8月の後半には水位を高くし、ワニさん歩きでは、伸ばした足が浮力を感じ、プカーッと浮く心地良さを味わってきました。自分でワニさん歩きができると「やった！」と保育士にハイタッチをしにきてその嬉しさを表現しています。台の上からジャンプをするときは、保育士と一緒に手を握ったり、棒に

つかまったまま飛び込んだりといろんな遊びを取り入れながら進めてきました。プール閉じの日には、お兄さんお姉さん、先生方に応援してもらいながら、台からジャンプをしたり、ワニさん歩きをしたりと自分ができるようになったことを発表しました。たくさん身体を動かして、心も身体もたくましくなった子どもたちです。

### ○七夕かざりを見に行こう



坂本地域では七夕飾りを旧暦で飾る習慣があるそうです。8月7日にはたくさんの大きな七夕飾りが保育園の周辺に飾ってありました。朝の涼しい時間に歩いて見にいきました。靴を履くときから七夕飾りが見えていて指をさし、「きれいねー」と笑顔がこぼれていました。歩くペースも早くなり、七夕飾りを目指してずんずんと進んでいきました。「きれいー」「おおきい」「くまさん、いる」「きらきらー」と見上げるほど大きな七夕飾りに大喜びをしていました。途中、音を立てて流れる水路に手を伸ばし、水を触っては「きもちいい」「つめたいねー」と慣れ親しんでいる水をみると思わず触れずにはいられない子どもたちでした。

### ●集団

どんぐりさん同士の繋がりが深くなり、友だちが病気で欠席をすると、朝の会のお名前呼びの際に「〇くん、いないね」「〇くん、なーい」とお休みのお友だちのことも気にかけてくれるようになりました。元気になって久しぶりに登園してきた時には、名前を呼び合って、駆け寄り、嬉しさを表現しています。自分のことを思ってくれている、あなたのことが大好きだよという関係が見えてきたことがとても嬉しく思います。

### ●言語・認識

友だちの名前、マークが分かったこどもたちは、給食やおやつ時間になりイスの用意をするとき、「ここちゃんの」「きいさんの」とマークを見て友だちと教えあいつこをしていています。「よいしょ、よいしょ」と小さい身体で一生懸命に両手に抱え持ってきて「はい」と渡してくれる姿も見られました。給食後には保育士の真似をして、イスを片付けるお手伝いしてみようとする姿もあります。友だちや保育士のお手伝いをしたりと、少し大きな自分に挑戦していくことで、自分の世界を広げようとしている姿に子どもたちの成長を感じます。

### ●食事

苦手な食べ物があると、プイッとそっぽを向いたり、お皿に最後まで残して教えてくれています。担任がスプーンを口元へ運ん

でも「イヤ」と拒んでいるときには、「あんずさーん、見ててね。〇ちゃん大きなお口でたべるよ」と食べたいという気持ちを引き出してみるようにしています。食べることができたら「すごいね」とあんずさんがほめてくれるので嬉しくて、また一口食べてみようと思います。どんぐりさんのお友だちがスプーンを口元に運んでくれると、嬉しそうに食べてくれることも多いです。

ちょっとした工夫をしながら、慌てず諦めずに、何よりも楽しく取り組んでいきたいと思ひます。

### ●手指・探索

#### ○野菜スタンプあそび



りんご・ぶどうさんが育てた夏野菜をもらって、野菜スタンプをして遊びました。用意したのは『ナス・こどもピーマン・オクラ』です。子どもたちの目の前で野菜を切って切り口を見せると、みんなじーっと覗き込んでみます。「これなあに？」とはるまくん。「オクラだよ。オ・ク・ラ」と教えると「オクラ」ときいさんも一緒に言葉に出して言い、笑いあっていました。

保育士が画用紙にペタッとスタンプしてみると、「ちょうだい」とここはさん。自分でやりたい！という気持ちを伝えてきてくれました。子どもたち一人ひとりに野菜を配ると「ペタッ」「ペタンコ」とスタンプに合わせて同じところに重ねて押ししているのは、なおきくん。このかさんは並べて押ししていました。とひとりひとりのリズムでスタンプあそびを楽しみました。「できた」「いっぱい」と野菜ひとつひとつの模様を楽しむことができました。

### ○シール貼り



指先がうまく使えるようになり、貼ったり、はがしたりが楽しくて仕方がない子どもたちです。画用紙に思い思いにシールを貼って楽しみました。台紙からシールをはがすとき、上手くはがせずにいた子には、友だちの様子を見せたり、はがしやすいように角を浮かせてあげたりと少し援助をすると、活動を終える頃には自分ではがせるようになりました。一列に貼り、その上に重ねるように貼っていく子。バラバラにはる子。貼ってはがして楽しむ子。と一つとして同じものはなく、シール貼りにもその子なりの表現が表われている素敵な作品となりました。指先が器用になってきたことも実感できた活動でした。



### ○ペグ差し

穴に棒をさしたり、紐を通したり、ネジをまわしたりする動作は、手先・指歳を思い通りに動かすために効果的な遊びとなります。

手先を器用に動かしながら、物の仕組みを理解することにもつながります。穴にどのような向きで押せば、ささるのか。どの形が通るのか。体感・経験しながら楽しく学ぶことができます。手先が器用になったり、脳にいい刺激があるほか、集中力が身に付いたりもします。

ピック、木の棒、おはじき、ビーズを用意して取り組むと、どの穴にどの素材が通るのかを、見たり、実際に通してみても楽しく確かめています。

### ●排泄

・ここはさんは園にいる間は失敗がなく、オマルに座ると必ずおしっこが出ています。トイレでおしっこをするときも成功し、自信をつけています。

・みつばさん、なおきくんもオマルでの成功が増えてきました。おしっこが出てしまった時は、「ち、ち！」「おしっこでたー」と教えてくれています。

・きいさんはおしっこが出る感覚を覚え、したくなったら態度で教えてくれることが増えてきました。オマルで排便の成功もあります。

・はるまくんは自分のタイミングでトイレに行き、おしっこを済ませたらスリッパをきれいに並べてからひとりでお部屋に戻ってきてくれるようになりました。

・このかさんもトイレにいき、おしっこをしています。トイレットペーパーのちぎり方を覚えているところです。

### ●健康 ~命の日の集い~



命の日の集いでは、“一日一日を大切に生きること”“愛されていることを”を実感出来る取り組みをしました。命を大切さについてみんなで考え、取り組みを通して今が楽しい！生きていって素晴らしい！と思える日々を一緒に過ごせるようにと取り組んできました。『あかちゃんだったころ』というパネルシアターを見て、お母さんのお腹の中で赤ちゃんが育っていく様子を見たり、誕生してから1年間どのようにして大きくなるのかの話をお聞きしました。次に丸のままの食材に触れます。スイカ、トマト、かぼちゃ、きゅうり、なす、鯛やエビを見せ、触ってにおいをかぎ、命あるも



のの実体を体感しました。そして「みんなでごっこあそびをしよう！」また、お手伝いあそびを通して「できたね」「ありがとう」などの大人の声かけに応えながら、生活体験のまねっこを楽しんできました。りんご・ぶどうさんの畑に行き、ミニトマト、なす、オクラ

の収穫をさせてもらいました。ミニトマトは収穫してはその場で食べ、野菜のいのちを頂いていることを伝えてきました。給食では実際に触れた食材を料理してもらい目の前で取り分け「命まるごといただきます」とくるみさん、あんずさんと一緒に楽しい雰囲気の中で頂きました。1歳児さんに十分な意味は分からなくても、みんなで作る楽しい雰囲気が心に刻まれた1日だったと思います

### ●身辺自立 着脱

何でも自分で！という気持ちが強くなり、ちょっと難しいことにも挑戦する子どもたち。でも時には自分の力が足りなくて出来なかったと葛藤する姿もあります。そんな心の揺れを見守りやろうとする姿をそっと応援して、時にはちょっとだけ手伝ってあげたり、出来たときは一緒に喜んだりする中で子どもたちは、これから経験する楽しい出来事への期待をふくらましているのではないかと思います。

ご家庭からも『自分でパンツとズボンを履くようになりました』と子どものやりたい気持ちにじっくりと付き合ってくださっている様子を連絡帳でお知らせ頂きました。大人が手を出し、履かせることは時間の短縮にはなりますが、子どもの願いには添えません。時には見守り、少しだけ援助してあげて、「自分でできたね」の言葉をかけてあげてみてください。子どもたちのやりたい気持ちが膨らみ、身辺自立へも繋がっていくと思います。

### ●絵本

○『きんぎょがにげた』ごっこ  
絵本「きんぎょがにげた」を読んでから、お部屋の中のいろんなところに隠れた金魚を探して遊びました。金魚が逃げて隠れる間、子どもたちは目を隠して「もういいかい」と尋ねます。「もういいよ」の合図と共に走り出すように探し始めました。「どこにいる？」とウロウロ。「あ、あそこ」の声に子どもたちが集まり「みつけた」と声を揃えて教えてくれました。プールにも逃げた金魚はスプーンですくって遊びました。「とれた」とコップいっぱいに入れて楽しみました。スプーンですくう動作も上手になりました。

○『タンタンのハンカチ』ごっこ  
絵本「タンタンのハンカチ」もハンカチを大きくするおまじないの言葉が大好きで、保育者が読むと一緒に言葉が発しています。ハンカチをマントに見立て、つけてあげると大喜びで部屋中をかけっこしています。タンタンになった子どもたちは、「早い！早い！」と言われるとますますはりきってかけっこをして見せてくれました。タンタンになりきってお庭まで走っていき、太鼓橋をよじ登って、「おーい」と元気いっぱい呼びかけたり、力をけよう！と順番に鉄棒にぶら下がってたくさん遊びました。遊んだ後は、汚れたマントの洗濯ごっこ。泡をいっぱい立てて「ごしごししゅっしゅ」とお洗濯をしました。「あわ、いっぱい」「きゃははは」と泡を身体につけて大喜びして遊びました。



### ●描画 油谷このかさんの描画を紹介します。

『線の跡を人差し指でなぞって「ぐるぐるぐるー」。右端の線を描くときは「ちょちょちょちょ」と手首から小さく動かしてニコリと笑っては描いていました。



### ●音楽

8月は『みずあそび・きれいなさかな・アイスクリーム・せみ』を歌ってきました。みずあそびを歌うときは、水鉄砲を持つマネをして友だちや保育者とかけあっこをしたり、アイスクリームではパクッと食べると「つめたーい」ととても嬉しそうな表情を見せてくれています。生活の中で使う言葉があり、歌のときも言葉が発している姿が増えてきました。ピアノが鳴って、みんなで一緒に歌う空間が大好きで身体を動かしてリズムに乗っています。

### ●清潔

手を洗う時に、自分で蛇口をひねりあけることができるので楽しくて何度も開けては水が流れる様子を見て大喜びしています。手洗いの際は援助をしていますが、子どもたちが水道に集まって何やらしているのを見ていて、自分で蛇口をひねってから手を濡らし、ポンプの泡石鹸をつけてこすり洗いをし、水で流すという一貫した動作を自分だけでやっていました！洗ったあとは手を拭いて、拭いたらビニール袋に直す、と片付けまでやっていました。手を洗う場面は1日のうちに何度もあるので、どの時間に手洗いなのか分なくなるのか、午前中でもタオルを直しに行くお友だちがいて、思わず笑ってしまう場面でもあります。